

第3期氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定期の見直しについて

1. 背景及び経緯

- ・国では、石破内閣が発足し、今後10年間集中的に取り組む「基本構想」策定に向け、「新しい地方経済・生活環境創生本部」を設置、地方の経済界や自治体、学校、金融機関、マスコミなどからなる有識者会議を立ち上げ、年末に基本的な考え方を取りまとめることとしている。また、今後10年間を見据えた具体的な施策を令和7年6月にもまとめる経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）に盛り込む見通しとなっている。
- ・県では、県版まち・ひと・しごと創生総合戦略が今年度で終えることから、令和7年度以降の戦略について、令和7年中に次期総合計画（令和7年度末から5年間）と兼ねて策定すると令和6年11月に発表があった。
- ・新市長が就任し、市政に対する基本的な姿勢は、「市民の声にしっかりと耳を傾ける」、「オール氷見で活力と賑わいのある氷見市をつくる」としている。

2. 策定の進め方について

国や県の動向を踏まえ、オール氷見で地方創生の取組を考え、推進する戦略となるよう、令和7年度中に策定する。